

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	医療介護連携事業		
部 局 名	健康福祉局	課(室)名	地域包括ケア推進室
		電話番号	087-839-2345

【事業全体概要】まちづくりの目標：健やかにいきいきと暮らせるまち

総合計画	政策	いきいきと共に暮らせる福祉環境づくり		主体	市
	施策	高齢者の生活支援と社会活動への参加の促進		期間	平成 26年度～平成 27年度
	基本事業	高齢者生活支援の充実		総事業費	16,762
重点取組項目	重点取組課題 6		特定財源	国	785
関連根拠法令等	介護保険法			県	392
事業区分	自治事務	種別	事中・事後	市債	
事業種類	補助			他	393
				一般	15,192

事業の概要
地域包括ケアシステム構築に当たって、医療と介護の連携を図ることが重要であることから、在宅医療従事者で構成する在宅医療連携会議を設置し、在宅での医療と介護の在り方について検討する。また、在宅医療連携会議で検討された内容を反映させ、在宅生活を支援するとともに、地域の実情に応じたネットワークづくりを推進する。

【事業の目的と指標】

対象	高松市民	対象指標名	高松市の人口
手段	在宅医療連携会議を開催する。	活動指標名	在宅医療連携会議の開催数
意図	医療と介護が連携することで安心して在宅で生活できる。	成果指標名	実施した事業数
結果	医療と介護が連携することで安心して在宅で生活できる人が増える。	効率指標名	コスト10万円当たりの在宅医療連携会議を開催した回数

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	人		427,000	427,000	427,000	平成 27年度
活動指標	回		4	6	6	平成 27年度
成果指標	事業		2	4	4	平成 27年度
効率指標	回		0.05	0.07	0.07	平成 27年度
トータルコスト	[千円]		8,381	8,381		
(事業費)	[千円]		1,000	1,000		
(職員人件費)	[千円]		7,381	7,381		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
平成 25年 4月 1日現在の 65歳以上の高齢者人口 101,632人、高齢化率 23.8%となり、少子高齢化が進んでいる中で、医療・介護・住まい・生活・予防といったケアを一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築が急務となっている。	独居及び高齢者夫婦のみの世帯や認知症高齢者など支援の必要な高齢者が増加し、医療機関からの地域包括支援センターへの相談も年々増加している。	2025年、団塊の世代が後期高齢者になるとともに、独居及び高齢者夫婦のみの世帯や認知症高齢者が増加し、ますます支援を必要とする高齢者が増え、入院医療機関や入所施設が不足し、医療や介護の担い手が不足する恐れがある。	第5期高齢者保健福祉計画のアンケート調査より、在宅で生活している高齢者の 56.1%(平均)が今後も自宅での生活を望んでいる。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か A 法令等により市が実施しなければならない 介護保険法に定められた地方公共団体の業務である。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか A 貢献度が大きい 在宅で医療が必要な高齢者が増加しており、施策に貢献している。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか B 必要性は中程度 在宅で生活する高齢者数を増やすためには、医療と介護の更なる連携が必要である。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか A 影響は大きい 入院期間の延長や安易な介護施設への入所につながる可能性が高くなる。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか） B 事業にNPO、市民団体等が参画している 事業に高松市医師会、高松市歯科医師会等の関係団体が参加している。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか B 向上余地が考えられる（中小程度） 医療と介護がより連携することにより、事業の成果を向上させる余地がある。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか） A 実施済み / 実施する必要がなかった 在宅医療連携会議を年4回から年6回に増やし、医療と介護の連携についての課題抽出、検討の充実を図った。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか B 目標どおり達成できた 目標どおり達成できた。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか B 目標どおり達成できた 目標どおり達成できた。
10. コスト縮減ができたか B 縮減できた 目標どおりのコストで事業を実施できた。

【一次評価】

評価区分 継続		医療と介護の関係者間のネットワークづくりを推進するなど、医療と介護の連携を図った。																							
改革案		期待効果																							
内容	改革案なし	特になし	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																					
	削減	維持	増加																						
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
		阻害要因																							

【二次評価】

評価区分 継続		医療と介護の連携を図り、高齢者の在宅生活の支援に努めた。	
---------	--	------------------------------	--